

技能の習得①

事実を伝える

事実を正確に分かりやすく伝える

説明する

- ・休日の出来事を友だちに説明する。
- ・社会科で地図を使って道案内をする。
- ・家庭科で我が家の自慢料理のレシピを書く。
- ・学級会で今月のニューストップ3を説明する。
- ・新入生に図書館の利用方法を教える。 など

ショー・アンド・テル

英米の学校では、実物や写真を見せながら、みんなに話すという活動を、ショー・アンド・テルとして行っています。

描写する

- ・今日の給食はどんな味、色、香り？
- ・海辺の生物たちはどんな色、形、鳴き方、におい？
- ・サッカーの試合はどんな展開、どちらが優勢？ など

みんなに知らせたいこと 「一りん車の乗り方」説明書

指導のポイント

- 相手意識・目的意識の重視
- 構成メモの活用
- 読み手を引きつける題名や文木表現、接続語の工夫

「一りん車に乗れない人でも一週間で乗れるようになるよ」
一度ぐらいは一りん車に乗ったことがありますよね。一りん車は楽しい乗り物です。でも、かんたんだと思って乗ってみると、けっこうむずかしいんですよ。そこでどうやったら一りん車に上手に乗れるようになるのでしょうか。まず、初めに、家の人のだれでもいいですから二人の人に手をもってもらってください。その時に右と左に一人ずつ来てもらってしてください。一りん車に乗る時は広くてこけてもいいところでしょう。次に、どちらか一人の人に、・・・ 以下略
ことばの輝き優秀作品集から (府中市立東小学校 3年 室屋朱里)

技能の習得②

場面に応じて伝える

場面や目的に応じて適切に伝える

場面に応じて

- ・あいさつをする。自己紹介をする。
- ・買い物をする。電話をかける。
- ・手紙を書く。 など

目的に応じて

- ・質問する。依頼する。招待する。申し出る。確認する。約束する。
- ・賛成する／反対する。承諾する／断る。
- ・礼を述べる。苦情を言う。ほめる。謝る。 など

「招待状を出そう」

(問)

保健委員会では、紙しばいに楽しい絵をかいたり、読む練習をしたりしています。二年生にたくさん来てもらえるように次の文章に続けて招待状を書きましょう。

二年生のみなさん
保健委員会では、六月四日の昼休みに、保健室で虫歯の予防について紙しばい「虫歯くんさよなら大作戦」をします。

(平成15年度 広島県「基礎・基本」定着状況調査小学校5年生国語科から)

あいさつはコミュニケーションの第一歩です。

「あいさつ+1」もう一言付け加えることで人間関係がさらにふくらみます。



技能の習得③

情報を理解する

聞いたり、読んだりしたことを確実に理解する

記録する

- ・短い文章をテープで聞いて正確に書き取る。
- ・図鑑や事典を読んで、レポートにまとめるために必要な箇所を抜き書きする。 など

要約する

- ・物語を読んで、本の帯を作る。
- ・文章を読んで、事実と意見、感想を区別してまとめる。 など

報告する

- ・グループ討議をして、まとめを報告する。
- ・伝言ゲームをする。 など

質問する

- ・ゲストティーチャーにインタビューして、そのメモをまとめる。
- ・他校の生徒会のホームページを見て、質問をEメールで送る。 など



自分の好きな絵本を選んで、紹介文を書き、相手に分かるように紹介します。

(三原市立三原小学校の取組み)



「算数のノート指導」

自分で考えたこと、分かったことを整理し、学習の成果がよく分かるように工夫しています。

(三原市立須波小学校の取組み)

読書へのいざない

「広島県子どもの読書活動推進計画」

「広島県子どもの読書活動推進計画」では、「たくさん読む」「よりよく読む」ことを目標に5年間の読書活動推進の方策について示しています。

まずは、子どもたちに楽しい本と出会ってほしい。と考えます。

「Let's Read—中学生にすすめる190冊」などのブックリストを活用しましょう。各校でも、推薦図書、必読図書を選定しましょう。

学校図書館の取組み ①

学校全体が学習・情報センター

学校全体にいろいろなコーナーを設け、ことばの教育の情報提供をしています。(安芸高田市立小田東小学校の取組み)



学校図書館の取組み ②

読書マラソン5,000ページ

1冊読むごとに、簡単な感想を記録し、そのページ数を累積し、期間内に5,000ページ読破をめざします。(広島井口高等学校の取組み)



「本を通して生きる」ことへの興味が語れる教師へ」

- ・どんな本が子どもの興味を引いているのか情報を入手しましょう。
- ・子どもたちの行き着く先に、本を置きましょう。
- ・「この本もよろしいよ」と先生が個別に声をかけたり、ブックタワーをしましょう。
- ・職員室に大きな書棚を置き、先生自身が読書人になりましょう。
- ・先生の愛読書を校内でも持ち歩きましょう。
- ・先生も、こころの毎に感想文や研究レポートを書いて保護者に送りましょう。
- ・図書館、国語科担当だけでなく、全職員が本を通して生きるこころの興味を語りましょう。

広島県子どもの読書活動推進ネットワーク協議会
代表幹事 吉川 五右衛門